

# 市議会だより



2019年2月1日発行

発行 仙北市議会  
編集 仙北市議会  
広報編集 特別委員会



新年のあいさつ

P2

12月定例会・議員賛否

P3

予算常任委員会

P4

一般質問

P5~11

総務文教常任委員会

P12

市民福祉常任委員会

P13

産業建設常任委員会

P14

議会改革推進協議会、  
人事、表彰

P15

いきいき広場・控室・  
いきいき広場・控室・  
編集後記

P16

■平成31年出初め式



# あけまして

# おめでとーびーぎいいます



仙北市議会議員 青柳宗五郎

かつて、一般的には、議員に対するイメージとして、執行部に住民の声を伝える力が重視されていたように思われます。

道路や橋の整備など、地域における生活基盤を向上させることが、議員評価の基準とされていたのではないのでしょうか。

しかし、インターネット・SNS等の情報ネットワークの発達によって、議員を経由しなくても、自分の思いを市長に伝えることができるようになりました。こうした時流は「住民の声を執行部に取り次ぐ」という従来からの議員の役割の一部が弱められる効果をもたらしているとも言えます。

これからの議会には、執行部への批判・監視だけでは不十分で、まちづくりに対し「より専門的な知識」で、市の経営に参画する力量が問われています。例えば、地域社会の一点だけにとらわれず、全体像を見据えた多様な視点から、分析・検討できる能力も、その一つと考えます。

昨年の3月には、公共施設等の総合管理計画の個別計画が策定されました。この計画は、要するに「現在、市が有する300公共施設（道路や橋梁などインフラなどは除く）のうち、将来的に約35%を縮減する」ためのアクションプログラムです。

この背景には、いわゆる【平成の大合併】による類似施設の非効率性、あるいは同時期に到来する老朽化に伴う改修費用の増大などが挙げられています。

大切なことは、新たな公共施設と、既存の公共施設とのバランスです。これまでの施設を統廃合することには、少なからず感情的に陥りやすくなります。

しかし、これらの膨大な管理経費が、結果として、全体の市民サービスを圧迫することになる事態は、避けなければいけません。苦渋の選択が強いられる大きな課題と捉えています。

市の資源には限りがありますが、一方で市の課題は無限とも言えます。まずは、こうした課題を、市民の皆様と執行部とが、的確に共有するために、身を粉にして取り組む必要があります。

「平成」最後の年頭にあたり、こうした政策課題をしっかりと議論し、【前進する議会】を目指したいと思います。

本年も、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

平成31年1月吉日



# — 12月定例会 —

第7回定例会が11月30日から12月21日までの22日間開催され、一般会計補正予算案（第7号）・（第8号）、仙北市基金条例の一部を改正する条例等制定について等23件が審議されました。

初日に県人事委員会勧告に準ずる給与条例等に関する条例等の一部改正案、関係補正予算（第7号）を全会一致で可決し、仙北市教育委員会委員の任命については同意されました。

また、議会最終日には、小中学校11校に設置する冷暖房設備事業費3億5,774万円、育英奨学基金繰出金2,600万円、花葉館施設整備事業費2,997万円の各補正予算、市基金条例の一部改正案、総合給食センター工事請負契約締結案等が追加提案されました。賛成、反対討論の後、可決されております。又、意見書5件については全会一致で可決されました。

## 一般会計補正予算額 **6億8,426万円** 各小中学校にエアコン設置決定 育英奨学基金が不足し増額へ

**認定・可決された主な議案・意見書（予算関係は除く）**

- ◇仙北市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定
- ◇仙北市特別職の職員給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定
- ◇仙北市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定
- ◇仙北市手数料条例の一部を改正する条例制定
- ◇秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- ◇公の施設の指定管理者の指定について
- ◇仙北市基金条例の一部を改正する条例制定
- ◇工事請負契約の締結（仙北市総合給食センター新築工事請負契約）

- ◇工事請負契約の締結（仙北市総合給食センター厨房設備工事請負契約）

### ○意見書

- ・安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員を求める意見書
- ・介護労働者の労働環境及び処遇の改善を求める意見書
- ・看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める意見書
- ・75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを求める意見書
- ・介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を求める意見書

## 議決結果/議員賛否 平成30年 第7回 仙北市議会定例会(招集日:11/30 最終日:12/21)

凡例：賛→賛成、反→反対 退→退席 欠→欠席（議長は法律で定めるケース以外では表決をしないことになっています）

議案番号	会派及び氏名 件名	議決月日	議決結果	議決結果															
				黒沢龍己	小林幸悦	高橋豪	田口寿宜	八柳良太郎	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	熊谷一夫	平岡裕子	小木田隆	阿部則比古	荒木田俊一	伊藤邦彦	高久昭二
議案第107号	平成30年度仙北市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	12/21	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第108号	平成30年度仙北市介護保険特別会計補正予算(第1号)	12/21	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第115号	仙北市基金条例の一部を改正する条例制定について	12/21	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反
議案第116号	平成30年度仙北市一般会計補正予算(第9号)	12/21	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	反

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載していません。



# 予算常任委員会

## 12月定例会で審議された補正予算の主な内容

主な歳出	花葉館施設整備事業費	2,997万円	花葉館の客室空調設備の更新工事費
	公立学校施設冷暖房設備対応臨時交付金事業費	3億5,775万円	市内の各小中学校の教室等へエアコンを設置
	育英奨学基金繰出金	2,600万円	仙北市育英奨学金の基金不足による一般会計から基金への繰出し

### 本会議・予算委員会での質疑

**花葉館をはじめとした第三セクターの修繕工事 今後一体どこまで費用をつぎ込むのか**

**質問** 花葉館については建物の築年数も経過し、今年になってからも、多額の経費をかけて様々な改修を行っている。今回の客室の空調設備更新は、緊急という理由ではあるが、花葉館のみならず、三セク施設の修繕等の在り方について疑問だ。もっと計画的に行われるべきではないか。

**答弁** 花葉館は今年に入り既に約1,400万円の修繕を行っている。それに加えて今回の工事が追加となる。空調設備工事は平成31年度の計画であったが、緊急を要するため前倒した。今後市内第三セクター施設については綿密な修繕計画を設定して対応する。

**小中学校へのエアコン設置 来年夏に間に合わないのか？**

**質問** 学校へのエアコン設置については、この夏の猛暑により国が緊急に補正予算措置したものであるが、市の工程表によると、工事完了が31年8月末の予定となっているため、結局来年の夏はエアコンが使えない。工期を早め夏に間に合わせるべきではないか。

**答弁** 国では来年の8月までの設置を求めており、それに合わせて工期を8月末に設定した。夏に間に合わせるとなると、6月には完了しなければならないが、全国的に同様の工事が始まるため心配である。早期の設置完了に向けて、できる限りの取り組みを行う。

### 育英奨学基金の資金不足 厳しい指摘が相次ぐ

育英奨学基金が不足し今後の貸付ができなくなる恐れがあるとし、一般会計から2,600万円を繰入れ、学生の奨学資金に充てるとする補正予算案と基金条例改正案が提案されました。この問題について議員からは厳しい指摘が相次ぎました。

**質問** なぜ資金が不足する事態となったのか？また、仮に今回2,600万円を繰入れしない場合、今年度末で基金の残高が15万円程度しかなくなる。そもそもこの事態が判明したのはいつなのか。また、どのような経緯で分かったのか。

**答弁** 理由としては、貸付額が返済額より大幅に多くなったことが挙げられる。ゲットバック奨学資金制度など新たな取り組みが始まり、利用学生が増加した。滞納については約2,500万円程度となっているが、今後徴収に取り組む。残高不足は、12月上旬に監査委員等の指摘により判明した。毎月の資金収支を確認していればその時点で分かったことであるが、チェックを怠ってしまった。平成28年度にはまだ現金残高があり、そこしか見ておらず大きなミスがあった。非常に申し訳なく深く反省している。

**質問** 貸付金に対し返済額が少ない現状がこのまま続く場合、今回基金を追加しても、また同様に不足する事態となる。今後どのようにこの制度を運営していくのか。改善策なしに、足りなくなればまた一般財源から予算をつぎ込んでいくのか。

**答弁** 総合教育会議を開催し制度を検討する。財源確保策も様々な角度から考えたい。職員体制やチェック機能の強化も図る。今後の基金の在り方について、継続可能な方策を探る。

### 仙北市育英奨学基金の増額 賛成13 反対4 (賛成多数で可決)

#### 賛成討論

- ◇大切な教育資金であるにも関わらず教育委員会の姿勢は誠に遺憾
- ◇奨学金は子供達のためにも今後とも絶やすことのないよう意見を付す。
- 1、奨学金事務の厳格化と管理体制を強化すること
- 2、滞納について正しく対策を講じること
- 3、基金提供者に対する説明責任を果たすこと
- 4、今後の基金原資の確保や基金増額に取り組むこと

#### 反対討論

- ◇1人の職員に任せきりにし管理職のチェックが怠られていたことは誠に遺憾。
- ◇年内にも総合教育会議を開催した上で、基金提供者にも説明するべき。
- ◇その上で年明けに臨時議会を開くべき。

## 入見内川・川下田川改修の早期完了を。

議員 蒼生会 小林幸悦



### 市長 住民のため県に対し積極的に要望している。

#### 入見内川及び川下田川の早期改修を

**質問** 昨年7月の豪雨により西長野地区は、床上浸水、床下浸水、農地への土砂流入等甚大な被害を受けた。8年間で3回も大きな水害が発生している。住民は河川改修工事の早期完了を望んでいる。今後の改修予定について伺う。

**答弁** 入見内川の第1期改修計画は延長1,200mとなっており、320mが完了している。今年度は70mを施工。31年度には、更に100mの予定である。

川下田川については29年度の完了済延長が100mとなっており31年度は用地関係及び災害復旧工事箇所の高上げ施工を予定している。いずれも県の事業であるが住民の安心・安全を



■改修工事の早期完成が待たれる入見内川と川下田川

第一に考え今後も強く要望していく。

#### 防災無線 個別受信機の設置状況は

**質問** 防災無線は、雨や風が強い場合、室内では殆ど聞こえない状況であり、対応策として個別型受信機の導入を進めて行くとしていたが、現在の取り組みを伺う。

**答弁** 個別受信機の設置状況は、旧西木村では全戸に設置されている。旧角館町、旧田沢湖町では、平成28年、29年度は、白岩地区に15世帯、角館地区に2世帯新たに設置した。田沢湖地区でも3世帯に設置している。さらに角館地区で2件の設置準備中である。

防災無線については、2022年11月30日以降アナログ波が使用できなくなる。全てをデジタル波に移行する必要があるが、試算では約10億円の事業となる予想である。来年度は市民や有識者による検討委員会を設置し、現行の防災行政無線を含む仙北市にふさわしい新たな情報発信のあり方について検証し、2022年まで新システムへの移行を実現したい。

#### 住宅リフォーム促進事業の拡充を求める

**質問** 本市のリフォーム促進事業は、一般世帯で10万円、子育て世帯は20万円の限度額となっている。これに県の制度を併用すれば大きな負担軽減となるが、県の補助には様々な制限があり、市の申請だけになる場合が多い。子育て

世帯などの負担軽減の為に、市の補助率と限度額の見直しをするべきではないか。

**答弁** この事業は今後も継続したい。来年度は消費税率の引上げも予定され、駆け込み需要を見越して財源調整をし、事業を維持したい。市民の需要を掘り起こしながら、様々な見直しも視野に入られる。

#### 花葉館シャトルバスを地域住民の足に

**質問** 花葉館のシャトルバスを施設に限らず地域住民の足として活用すること、協議が進んでいるのか。

**答弁** この路線は民間によるバス路線で交通空白地域ではないため、市営での有償交通の開設ができない。また民間のバス事業者には大仙市、仙北市が運行費用に対する欠損額、約200万円を負担しており、存続に関しては大仙市との協議と合意が必要になる。実現に向けた検討は行っているが、課題も多い。しかし、地域のニーズに応えられるよう丁寧に解決を目指したい。

(小木田隆記)





議員 高橋輝彦 蒼生会

秋田新幹線利用者の利便性の向上は。

市長

引き続き、田沢湖・角館両駅に全列車の停車をめざし取り組んでいく。



■秋田新幹線の利便性を

秋田新幹線利用者の利便性の向上について

**質問** 第二次仙北市総合計画に掲げている、秋田新幹線の全列車を角館駅と田沢湖駅に停車させる事について、どのような取り組み、働きかけをしてきたのか。また、仙北市が主導して市民が一丸となって粘り強く取り組んでいくべきと考えるがその見解は。

**答弁** 毎年県が主導し、継続して両駅への全列車の停車の要望は行ってきている。利用客の需要見込みによつては、上りのこまち6号の停車については検討の余地があるとのことで、その需要の把握をどのように行うか検討しているところである。

仙北市から需要を喚起していく活動はさらに拡大をして

いかなければならないと考えている。

財政の健全性を確保する取り組みについて

**質問** 「事業を厳選し、予算規模全体の縮小化を進める」との考えで市政運営を行っている中、経常収支比率は目標値から遠のいている現状で、第二次総合計画に近づけていく手法はどのように考えているのか。

**答弁** 現在の財政見通しを総合計画に近づけるのではなく、総合計画を最新の財政事情と調整、整合する、との考え方で進めている。平成28年からの合併算定替えによる普通交付税の縮減など一般財源が減少した影響で、経常収支比率は悪化している。現在の予算規模や経常収支比率などの財政状況の見込みは、第二次総合計画で示したものと異なっている現実の中で、来年度以降の予算編成では、歳出でゼロベースでの事務事業の徹底検証と聖域なき見直しを行い、歳入でも市税等各種収入金の徹底した収納率の向上、積極的な遊休資産の処分などで自主財源のさらなる確保を図り、実施事業に対す

るあらゆる財源の洗い出しと調達に取り組み、懸案事業の実施と同時に財政の健全化を図っていく。

**質問** 児童扶養手当の誤払いの事案は市の過失であり、国へは返還せざるをえないものであるが、その再発防止の対策は。

**答弁** 各種制度の理解を深め、認識に誤りはないか複数の職員で精査をし、繰り返し事務に初心に帰ってしっかりと対応し再発防止に努めていく。

幼児教育・保育の無償化について

**質問** 国の消費税率引上げに伴う経済対策として、幼児教育・保育の無償化も盛り込まれているが、市としてのスケジュール案や具体的な内容はどのようなものか。

**答弁** 制度的には2019年10月から無償化に切り替わる予定で、はっきりした内容はつかんではないが、国・県の動向を見極めながら遺漏なく事務を進めたい。

3歳児から5歳児は所得制限なしですべての子どもたちの利用料が無償に、0歳児から2歳児は住民税非課税世帯

を対象として無償になる。

幼稚園、認定こども園の預かり保育、認可外保育施設等は、保育所との公平性の観点から翌年度の4月から無償化の対象とすることも含めて現在国で検討されている。

落合球場の改修工事の進捗について

**質問** 平成31年度に実施設計、翌年度には工事着手とのことだが、課題である財源は確保できているのか。

**答弁** 4項目の改修を提示し協議をしている中で、野球連盟としてはスコアボードの電光掲示板板化の要望の思いを強く持っていることで、着工は平成33年以降にずれ込むが、財源確保をしようとして取り組んでいきたい。

(真崎寿浩記)



■電光掲示板板化が待たれるスコアボード

市道の維持管理は適正に行われているのか。

荒木田俊一 議員



市長 要望に即応できず、申し訳ない。

**市民の要望が一番多い道路整備事業の促進を**

**質問** 市道の維持管理は適正に行われていると言えるのか。また財政が厳しい中で整備事業は計画的に行っているのか。さらに幹線道路が観光産業に与える影響も大きいと思うが十分なのか。

**答弁** 市道延長88.5km、1,728路線の全てに十分対応しているかと問われると、経年劣化に補修が追いつかず、適正だとは言えない現状だ。事業は計画的に行っているが、市民の要望に即応できるスピード感がなく申し訳ない。観光産業に限らず、あらゆる面で道路が果たす役割は大きいので、新たな財源確保にも努めた上で計画を達成していきたい。

**インバウンドに対応するためのキャッシュレス化は進んでいるのか**

**質問** 市内の商工、観光業、民宿、タクシー等のキャッシュレス化はどの程度進んでいるのか。

**答弁** 市内の宿泊施設、飲食業、小売業のクレジットカード決済導入率は30%であり、

タクシーはまだ導入していない。導入の負担軽減となる国の支援策の活用も促し、クレジットカード決済導入率40%を目標に、官民一体で加速させていきたい。

**学習指導要領改定の対応は**

**質問** 学習指導要領が改定されるが、情報活用能力を養うため、ICTを活用した学習環境の整備計画と機器導入の財源を伺う。

**答弁** (教育長) コンピューターを活用しての情報収集・整理・比較等の学習であるが、現在もドローンを活用したプログラミング学習などを指導要領に先駆けて取り入れている。今後は、全小・中学校に、国の交付金等を活用してタブレット端末を導入するなど、学習環境の一層の充実を進めていく。

**学校適正配置推進計画の進捗は**

**質問** 学校適正配置は地域にとつて大きな課題である。現在検討中の、中川小と松木内中の議論はどのようになっているのか。また、子どもたちの意見も尊重すべきと考えるがどうか。

**答弁** (教育長) 中川小は、保護者や地域住民から一定の理解を得られたことから、角館小との統合を進めるが、統



■統合協議が進む中川小学校

合時期は今後協議していく。松木内中は、通学距離などの課題があり、来年度も意見交換を継続していくことにした。また、今後は子どもたちの声もよく聞いて対応していきたい。

**給食費の未納対策は**

**質問** 給食費の未納について、教育委員会はどのように捉えているのか。市民から信頼される教育委員会であることも重要な要素であると考えられるがどうか。

**答弁** (教育長) 滞納者には「分納誓約書兼債務承認書」を提出いただき、納入計画どおりに履行されない場合は、2月から訪問集金に伺う。納付し易い環境を構築するため、児童手当からの引去り、分割納付の相談、コンビニ納付などの対応による納付啓発活動に努めている。市民から信頼される教育委員会であるために、子どもたちの教育にもしっかりと取り組んでいく。

(高橋輝彦記)





伊藤 邦彦 議員

企業誘致はどうなっている。

市長

植物工場の誘致は現地法人の設立に向け  
具体的交渉を始めた。

田沢湖黒沢工業団地  
への企業誘致と道の  
駅構想の行方は

**質問** 今交渉中の企業がある  
との事だが、今後の展開につ  
いて伺う。

**答弁** 金融機関から引き続き  
誘致に向け最大の努力をいた  
だいている。植物工場の誘致  
は具体企業との交渉を始めて  
いる。工場の新設意向の企業  
には現地案内をして、進出に  
向けた交渉を続けている。企  
業誘致に関する企業のリアル  
タイムな情報収集、企業誘致  
のノウハウ習得のため市職員  
を秋田県へ派遣の調整を進め  
ている。

**質問** 市民有志からの「道の  
駅」請願を採択したが、その  
後の進展が見えていない。

**答弁** 直売施設は実現した  
い。道の駅に隣接しているだ  
けでは安定した経営は非常に  
困難になっている現状があ  
る。市内の民間経済団体が特  
化した事業として既に調査し  
ている情報がある。内容に  
よっては支援をしていきた  
い。

私たちが作る持続可  
能な世界とは

**質問** 貧困、飢え、教育不平  
等、エネルギーなど「世界を  
変える17の目標」が掲げられ  
ている。問題解決には、一人  
ひとりの高い意識と我慢や忍  
耐が必要と思う。生活ごみの  
更なる分別（生ごみは土に返  
す）が必要ではないか。燃費  
の削減にもつながる。

**答弁** 住宅密集地やアパート  
等に住んでいる環境にある  
人、生ごみを堆肥等で活用で



■年明けの燃えるごみの収集

きない人たち、コンポストに  
できない方々に対して燃焼の  
処理をしなければならぬ。  
生ごみは燃やせるごみとし  
て処理している。生ごみの焼  
却に対して負荷の報告はな  
い。

古着、古布など再資源化で  
きるか検討したい。二酸化炭  
素削減の一步になると考えて  
いる。

**質問** 仙北市は山が多い。灯  
油から脱却してペレット暖房  
にすることにより二酸化炭素  
削減になる。考えてみてはい



■身近な資源を活かした暖房

かがか。

**答弁** ペレットは灯油との  
価格競争力に欠ける状況に  
あり、ペレットストーブも高  
価であり事業者や利用者にも  
今の段階では負担が大き  
く、もう少し様子を見たほう  
がいいと思う。

薪ストーブを推奨するこ  
とのほうが薪炭林をはじめ  
とする山の手入れも進み、ま  
た熊対策にもなる緩衝地帯  
をつくることのできる一挙  
両得の側面もある。

(平岡 裕子 記)





高久昭二 議員

海外出張による費用対効果は。

市長

外国人宿泊者の増加・台湾チャーター便運航も決定している。

**市長の海外出張等に係る諸経費並びにその費用対効果について**

**質問** 平成29年度から今年度まで4回の海外出張における支出内訳は。

**答弁** 平成29年度は北京中国日本商會訪問、田沢湖・澄清湖姉妹湖提携30周年記念事業で台湾訪問の2回で43万5,310円。今年度は台湾、タイトップセールスの2回で48万8,556円の出張経費である。

**質問** 海外出張による費用対効果は。

**答弁** 台湾の澄清湖との姉妹湖提携30年となり、温泉提携、高校・中学の姉妹校提携・マラソン交流も行っている。昨年度の外国人宿泊者も秋田県全体の3分の1を占める3万2,500人が仙北市に宿泊している。来年4月からは、秋田空港と台湾を結ぶチャーター便の運行も決定し、秋田県全体の取り組みが実った成果だと感じている。

**質問** 外国人宿泊者を迎える施設以外では経済効果が表れていないのでは。

**答弁** 商工会関係者や土産店等からも観光客は増えている

が消費に結びついていないとの指摘もある。早急な改善を進めることが課題である。

**質問** 長期出張中に不慮の事故や災害が発生した場合の対応は。

**答弁** 市長が公務出張の際は副市長に裁量権がある。これは庶務規定で決まっている。

卒田黒倉地内の水道施設建設計画について

**質問** 建設計画に対するまちづくり懇談会での市民の反応・意見は。

**答弁** 11月に開催した懇談会では、計画の必要性・水質への不安・水量確保・個人使用の地下水変動などの不安や指摘をいただいた。市では当該地区で、揚水試験業務を6月



■卒田黒倉揚水試験状況

に発注し来年の3月までの工期で調査している。1月の速報値を踏まえて事業計画を整理し、2月定例会などで整備方針を示したい。

**質問** この地域の地下水はマンガンを含む水質ではないか。また、加入者の調査はどうするのか。

**答弁** 通常どこの水道水にもマンガンは含有されているが、調査結果で飲用に適さない水を水道事業で給水することはない。安定した水道収益を得なければ継続的な事業が出来ないため、加入に向けたアンケート調査など事前調査をしっかりと行う。

**質問** 黒倉遺跡への影響を調査するべきでは。

**答弁** (教育長) 事業を進める上で試掘等が必要な場合は、県の文化財保護課に相談する。

消費税10%の引き上げについて

**質問** 増税による地域経済への影響、市の対策について伺う。

**答弁** 国政にかかわること、地方の市長としての発言は控えたい。しかし、国全体を考えると、持続可能な社会

づくりをするために必要な財源ということで活用いただけるとあれば必要と考へなければと思う。

東京ふるさと会について

**質問** ふるさと会には平成27年度まで10万円の補助をしていたが、ふるさと納税の一部活用による補助復活の考えは。

**答弁** 各地区のふるさと会も重要だが、一本化による仙北市ふるさと会を作つてほしいと話してきた。しかし細分化した地区もあり現在補助はない。ふるさと納税の一部活用は少し違和感がある。

(武藤義彦記)



■東京ふるさと会の様子



蒼生会 武藤義彦 議員

緊急対応が必要な空き家への行政対応は。

市長

天候などに左右されない一定基準での対応を検討する。

危険空き家への対応と安全対策を

**質問** 市では危険老朽空家対策支援事業として最大50万円の支援をしているが、補助残の支払いが困難な方等への救済策はないか伺う。

**答弁** 地元金融機関との提携により、低金利での空き家解体ローンもあるが、支援金上限等についてもその対応を検討しなければならないと思う。

**質問** 雪の堆積、強風による屋根材飛散は緊急対応事案であり、最小限の行政対応による、除去・排除も必要と思うが。

**答弁** 周囲に危険を及ぼすことが明らかである場合には、その対策をこれまでも必要に応じて行ってきた。これからは、天候等に左右されない一定の基準



■緊急対応が必要な危険空き家

をもって対応するという検討が必要である。

指定管理者制度の見直しを

**質問** 市民の利用形態・継続的な指定管理者による発想力、競争力の低下等の弊害を踏まえた見直しが必要では。

**答弁** 財源の有効活用という観点から、施設のあり方の検討や改善策も講じている。経営が思わしくない、採算が難しい施設であっても、設置目的、市民ニーズ等を考えた場合、引き続き市が関与しなければならぬ施設もある。ただ、市民の方々が不便を被ることのないよう改善を求



■安心・安全な水道水の供給を

め、さらに踏み込んだ議論を進めたい。

**質問** 官主導の前例踏襲と固定概念を変え、従来の公施設運営から脱却すべきでは。

**答弁** 市民の方々の意識を、業務に反映させる仕掛けづくりや意見を伺い真剣に取り組み。活力ある地域づくりに初心に返った思いで来年度は取り組みたい。

水道法の一部改正について

**質問** 人口減少による料金収入の減少、施設の老朽化等の課題に対応するとして、官民連携の「コンセッション方式」を導入し、公営水道の運営権

を民間に付与できる仕組みが国会で成立したが、現時点での考えは。

**答弁** 県の動きを注視し、今後の方向性を他市町村とも連携しながら模索していく。少なくとも県内では、できる限り平準化した安心・安全な水を利用できるように、広域化をしっかりと整えていく環境づくりが重要である。

臨時・非常勤職員の待遇について

**質問** 放課後児童クラブの支援員の方等、責任の重さに比べ待遇に恵まれない臨時・非常勤職員が多いと感じるが、2020年導入の会計年度任用職員制度の概要を伺う。

**答弁** 一般非常勤職員で、フルタイム勤務やパートタイム勤務を問わず会計年度任用職員となる。給料、手当等は、勤務体制等にもよるが、原則給料表に基づく算出額で期末手当の支給も可能となる。国の考え方、制度の必要性は理解できるが、現状ではアウトラインしか情報がない。

(高久昭二記)

用語解説

・コンセッション方式  
…施設の所有権は地方公共団体で、運営権を民営事業者に付与できる仕組み。



## 平福記念美術館の館藏品充実を。



蒼生会 八柳良太郎 議員

教育長

### 運営審議会で審議して頂き購入基金の活用で充実を図る。

**開館30周年を迎えた平福記念美術館。館蔵品の充実を求める**

**質問** 「良い作品が出た」という情報は、これまで何度あったのか。

**答弁** (教育長) 年に数件はあったと伺っている。

**質問** 情報をもたらった時点で、どのような対応を取ったのか。

**答弁** (教育長) 平福記念美術館は市立の為、運営審議会で購入について審議して頂き、必要予算を確保してから購入手続きに入るため、時間がかかる旨を説明している。そのため、一般の方はすぐに売買が出来る画商へ相談するケースが多い。

**質問** 逃さず購入する具体策は何か。

**答弁** (教育長) 購入資金の確保と所有者との協議が必要だ。ス



館蔵品の充実が望まれる 平福記念美術館

ピード感のある対応を可能にするためにも、予算計上の在り方も含め改善点を探る。

**質問** 30年前の開館時、年間入館目標は何人だったのか。また、現在はいくらか。実績値も併せて伺う。

**答弁** (教育長) 開館時の入館目標は確認できないが、現在の目標は1万5千人である。28年度の入館者数は、1万3,591人で、その内、無料入館者数は5,198人となっている。29年度入館者

数は1万3,433人で、無料入館者数は4,888人である。

**質問** 美術作品等購入基金は、過去どのように活用されたのか。購入品名、金額、年月日を問う。また、購入基準は何か。

**答弁** (教育長) 基金設立は平成11年3月であり、当時50万円でスタートした。平成29年度末の基金残高は約1,537万円となっている。基金を活用しての購入は現在まで行っていない。

**質問** ホームページやSNS等を活用し、入館者増につなげる考えはないか。

**答弁** (教育長) 旅行会社、出版社等から自社サイトで紹介したいと、掲載内容の確認や画像の提供を依頼された場合は、出来るだけ応えている。美術館の場合、著作権の関係上、展示作品の画像を全て紹介できないが、画像が載っていない紹介サイトなどにはこちらから提供出来る旨を通知する。

### 伝承館前ポケットパークの利便性強化を

**質問** 伝承館前駐車場の管理

体制はどうなっているか。ポケットパークトイレ洋式化の予定時期はいつか。

**答弁** ポケットパーク駐車場は財政課で月に数回、勤務時間内に現状確認を行っている。トイレの洋式化については来年度内を目指す。

### 角館のお祭りの在り方を問う

**質問** 今年の角館のお祭りでは、予定されていた「観光用やまぶっつけ」が三方所で行われず、お叱りを受けた話を多く聞く。ガバナンスが無くていいの。市議会が実行委員から外されたままでいいの。

**答弁** 現在、実行委員会や曳山責任者会議、張番協議会等で再発防止の協議が行われている。市としても二度と起らないよう申し出る。ガバナンスが無いという指摘だが、お祭りに関する組織、会議がお祭りのガバナンスである。しかし、事故など責任の所在等は不透明感が残る。実行委員の構成については、実行委員会で協議し、決定することが適切と考える。

(門脇晃幸記)

# 総務文教常任委員会

## ふるさと納税寄付額が大幅増加

12月定例会の総務文教常任委員会では、平成30年度一般会計補正予算などが審査されました。仙北市に対するふるさと納税が大きく増加したことなどが議論されています。

主な内容

本庁舎維持管理費

52万円

庁舎で使用する燃料の高騰による補正予算。

ふるさと納税ふるさと便事業費

4,845万円

ふるさと納税の返礼品に係る費用。ふるさと納税寄付額が増加したことに伴う増額補正。

ふるさと仙北応援基金積立金

1億407万円

ふるさと納税寄付金の基金への積立。寄付金増加による。

### ここが知りたい 議論のポイント

補正予算の主な質疑

**本庁舎維持管理費 燃料費高騰の内訳は？**

**質問** 燃料費高騰による補正予算だが具体的にどの程度上がっているのか。

**答弁** 当初予算作成時には、大口A重油は1ℓあたり65.88円で想定していたが、その後93.96円となった。また、中口A重油は68.04円が98.28円に、灯油については83.16円が102.06円となった。単価契約は市場価格に基づき、秋田県石油商業協同組合と一括して契約し、地元業者が納入している。今年は10回程度契約の見直しを行っている。

**ふるさと納税寄付額が増加しているがその要因は？**

**質問** ふるさと納税寄付額が大幅に伸びているようだが、その要因は何か？

**答弁** これまでも、ふるさと納税を扱うサイトに複数登録していたが、5月から楽天が運営するサイ

トにも登録したところ、そちらからの寄付申込が非常に多く結果として大幅に増加した。12月現在では10のサイトから寄付申込が可能となっており、ふるさと納税希望者の目に触れる回数が以前より増えた。返礼品については、米が一番多く出ており、次いで、虹の豚、比内地鶏ラーメン、きりたんぼセットなども多い。

**質問** 寄付者は寄付金の使い道を選べるが、内訳はどのようなものか。

**答弁** これまでの寄付総額は3億2,100万円だが、「自治体におまかせ」という項目が一番多く約9,875万円、次に「未来を担う子供達」に対するものが7,954万円、「ふるさととの自然文化を守る」ことに対するものが4,078万円などとなっている。

**質問** 仙北市のふるさと納税をうたった偽サイトが発見されたようだが対策は。

**答弁** 12月10日に仙北市のふるさと納税サイトを模倣した偽サイトが発見された。「生活用品専門店」という名前のもので、明らかに市のものとは違う。市のホームページで注意喚起した他、県を通じ警察にも連絡している。

## 特別会計補正予算案などを可決

- ◇平成30年度集中管理特別会計補正予算 4,491万円
- ◇平成30年度生保内財産区特別会計補正予算 1,710万円
- ◇平成30年度田沢財産区特別会計補正予算 887万円
- ◇秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について



■寄付額が増加している「ふるさと納税」



# 市民福祉常任委員会

## 「にしき園」の運営は当面の間、市直営で行うことに

12月定例会の市民福祉常任委員会では、条例の一部改正案や一般会計補正予算などが審査されました。また、特別会計の補正予算審査では、老人保健施設「にしき園」の運営について、法人化の検討をしたが受け手もなく、当面の間、市直営で行う方針が示されています。

主な内容

### 仙北市手数料条例の一部を改正する条例制定

コンビニ交付サービス事業における帳票手数料の一部改正

### ひとり親家庭福祉事業費

91万6千円

平成29年度母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金交付額確定による返還金。

### 母子生活支援施設等入所措置費負担金

357万7千円

児童福祉法に基づく母子生活支援施設入所に係る措置費負担金等の追加。

### 認可保育園等職員給与費

△1,087万円

認可保育園等の職員給与費の確定に伴う減額予算

### 予防事業費

173万6千円

中学生・高校生・妊婦へのインフルエンザ予防接種費用助成金の追加。

## ここが知りたい 議論のポイント

### 補正予算の主な質疑

#### ひとり親家庭福祉事業費について

**質問** ひとり親の規定は、例えば結婚せずに子供がいる方もいるが、どういう方が対象になるのか。

**答弁** 結婚された方でも、されていない方でも母子家庭、父子家庭の対象となる。

#### 母子生活支援施設等入所費負担金について

**質問** 母子生活支援施設入所措置で本人からの相談、発見された場合の対応はどうしているか。

**答弁** 職員と相談員で話し合いながら緊急の場合も含めて対応している。入所者は施設から仕事に行くことも可能で収入を得ることも可能だが食費は自己負担である。入所後は1、2年をかけて心理ケア指導による自立支援が行われるが、難しい方に

ついては期間延長もある。連れていくことのできる子供は18歳以内で、この施設は中央地区3カ所、県南地区1カ所、県北地区3カ所に設置されているが、県南地区は横手市にある。

#### 認可保育園等の職員給与などの改善を

**質問** 過去には保育士の産休代替があったが、そうした職員確保の対策はないか。

**答弁** 過去には産休代替として県から派遣されたが今はない。臨時の申し込みもなく施設内の職員でやり繰りしている。

#### 予防接種事業の内訳は？

**質問** 予防接種の接種予測人数はどのようになっているのか。

**答弁** 単価1,500円で中学生・高校生が1,230人の9割、妊婦の方で50人が接種するものとして予算計上している。

### 国民健康保険特別会計・介護保険特別会計補正予算を可決

**質問** にしき園の運営は、当面は引き続き市直営とし、将来的には介護老人保健施設から特別養護老人ホームへの移行も検討しているが施設の違いは何か。

**答弁** 老健は、医師の常勤・看護師の基準もあり、病院を退院された方がリハビリ等を受け、在宅復帰を目的にしている。特養は本人希望で「にしき園」より退所できるが、基本的には入所者の生活の場となる施設である。



■当面は直営で運営されることになった「にしき園」

# 産業建設常任委員会

## 女川町・富士河口湖町との子ども交流事業が打ち切りへ

12月定例会の産業建設常任委員会では、主に秋田県人事委員会勧告による職員の給与、期末・勤勉手当の引き上げに伴う一般会計補正予算、特別会計補正予算、水道事業会計補正予算が審査されました。また、仙北市活性化施設（かたくり館）の指定管理者の指定についても審査されています。

主な内容	秋田発・子どもふるさと交流推進事業費補助金	△70万円
	女川町と富士河口湖町の子どもたちとの交流事業の打ち切り	
	花葉館施設整備事業費	131万円
	消防署の改善指導による非常放送設備の交換工事	
	観光費	85万円
	上桧木内の紙風船上げ駐車場増設、青少年国際交流事業、国際交流協会補助金	
	冬期交通対策費	1,000万円
	除雪車リース料	

**ここが知りたい  
議論のポイント**

補正予算の主な質疑

秋田発・子どもふるさと交流推進事業の打ち切りについて

質問 これまで10年間の事業は非常に大きな意義があったと思うが、来年度以降も何らかの交流を検討できないか。

答弁 県の補助金が10年を区切りとして打ち切られることとなった。来年度中に再度交流継続について検討したい。

花葉館の施設整備について

質問 花葉館の整備事業費は、当初予算でも既に1千万円超が計上され、また、6月にも温水ポンプ等の故障で約200万円が支出された。今回も非常放送設備に130万円が計上されている。もっと計画的に施設の整備を進めていくことはできないのか。

答弁 花葉館は、施設の規模が大きいため年次で整備事業を計画しているが、経年劣化が計画以上に進んでおり、今回は、消防署から改善を強く求められたため、早急に対処するものである。

質問 第3セクターの施設修繕が多いが、施工に問題があるの

### 特別会計補正予算・指定管理者の指定などを可決

- ◇下水道事業・集落排水事業・浄化槽事業の各特別会計
- ◇公の施設の指定管理者の指定について

仙北市活性化施設 北小山田常会（平成31年4月1日～平成36年3月31日）

#### ～水道事業会計補正予算 水道法の改正による影響はいかに～

質問 水道法が改正され、水道事業に民間企業が参入可能となるが、今後の事業展開について伺う。

答弁 この法改正は、人口減少による料金収入の減少や水道施設の老朽化、人材不足など全国的な課題克服のため、民間の資金や能力を活用する「コンセッション方式」の導入を可能とするものだが、同時に、県を推進役とした広域連携の推進も掲げられている。市としては、政府や県の動きを注視し、近隣市町村とも連携しながら模索していく必要があると考えている。

ではないか。また、公の施設ではあるが営業努力も必要とされる第3セクターの施設整備事業をすべて市でやらなければならぬものなのか。

答弁 施工は問題ないと考えられる。花葉館とハートハーブの設備修繕が多くなっているが、どちらも築20年以上の施設で経年劣化が激しい。契約上、設備修繕は双方で協議する所であり、一部、会社側で負担している場合もある。今後は、市でも高額な負担は厳しくなるため、指定管理期間内に、地域の利用者や会社側と協議したい。



■老朽化による施設整備事業費が膨らむ花葉館



# 議会改革推進協議会

～改革のため様々な取り組みを行っております～

仙北市議会では、議会基本条例に基づき、より住民の皆様を開かれた議会を目指し、これまで様々な改革に取り組んで参りました。平成30年5月に新たな任期がスタートし、議会改革推進協議会のメンバーも一新しております。今後も、市民の皆様のために、より充実した議会となるよう活動して参ります。

## 議会改革推進協議会 これまでの主な取り組み

- ◇議会基本条例の制定（平成22年）
- ◇議員賛否の公表（平成23年）
- ◇本会議インターネット中継の開始（平成23年）
- ◇議員定数の見直し 22名⇒19名（平成23年）
- ◇予算・決算常任委員会の新設（平成24年）
- ◇議会報告会・意見交換会の実施（平成24年～）
- ◇常任委員会の所管事務調査の充実  
市立保育園・幼稚園の在り方に関する提言・決議（平成25年）
- ◇選挙公営制度の実施（平成25年）
- ◇予算常任委員会の審査日程の充実（平成26年）
- ◇議員定数の見直し 19名⇒18名（平成29年）
- ◇国会等への要望活動の活発化（平成29年）
- ◇ペーパーレス化に向けてタブレット端末導入決定（平成30年～）
- ◇ほか多数

### 議会改革推進協議会委員

座長	高橋 豪
副座長	熊谷 一夫
委員	阿部則比古
委員	田口 寿宜
委員	平岡 裕子
委員	小木田 隆
委員	高橋 輝彦
委員	武藤 義彦
委員	門脇 晃幸

## 現在の取り組み状況

- ◇議員定数の見直しと常任委員会の再編 協議中
- ◇議会だより発行の迅速化やホームページ等の充実、SNSでの情報発信など 協議中
- ◇9月定例会中の決算審査完了（平成30年9月定例会から実施）
- ◇政策提言力の強化 各常任委員会で1つテーマを絞り、課題抽出の上、改善策等を提言することを決定
- ◇政務活動費収支報告書のホームページ公開（平成30年12月から実施）
- ◇出前意見交換会の実施 町内会、市民集会等の会合からの要望があれば議員を派遣し意見交換会を実施する 協議中

◎仙北市教育委員会委員  
田沢湖小松字二枚橋  
細川 伸也（43歳）

平成30年12月議会  
人事案件（敬称略）



■稲田修議員

稲田修議員は通算35年以上（旧市町村時代を含む）地方自治に功勞した功績が称えられ、総務大臣より感謝状を頂きました。また、前市議会議員の小田嶋忠さんは、永年、市政振興に寄与されたとして、秋田県より地方自治功勞表彰を受賞されました。おめでとうございます。

総務大臣感謝状  
と県表彰

# いきいき広場

## 高橋さやかさん

田沢湖を眼下に一望できる水沢温泉郷で、ロッチヨードルを営む二代目、高橋さやかさんを訪ねました。

東京の大学へ進学し大手商社勤務しフランス滞在1年、イベント会社勤務を経て、ロッチを継ごうと秋田に帰って3年、あつという間に時間が過ぎたと話す「さやか」さん。

今は、母と二人で、お客様を迎えている。

ヨードルでは、母の作った野菜、弟が作ったお米を使った料理がテーブルに並び、「とても美味しい」とお客様には大好評。

最近、仙北市が受け入れをし



ているホームステイで、フリカの女性が宿泊したとの事。フランス語圏の方達なのでフランス滞在時の語学力が役立つだろう。

インバウンドに力を入れている仙北市。アジアの宿泊客が多い中、田沢湖のパウダースノーやトレッキングを求めてくる欧米人も折りみられる。

「今後は欧米人の誘客に力を入れていきたい」と目を輝かせて語るさやかさんでした。

(門脇晃幸記)

# 控室

## 地域教育

6月から始まった松木内地区の学校適正配置意見交換会に4度参加させていただいた。

最初は「統合ありきの会議」

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

平成の時代に終わりを告げる新しい時代の幕開けの年です。

議会でも、昨年12月定例会よりペーパーレス化に取り組み、タブレット端末機を導入しました。使いこなすのに時間がかかると思われていましたが、議会資料をワンタッチで全員に送信したり、タブレットを見ながら討論を行なうなどスムーズにできました。9月以降は、完全ペーパー

ではないかということで、行政・教育委員会への感情的な意見が多く、意見集約が難しいような状況ではありませんでしたが、最終的には、現状のまま適正配置をしないことを確認しました。

最後の会議での父兄の意見は、地域の教育は行政・教育委員会任せとすることなく、自分たちが主導し地域を

レスに切り替わります。それまで、慣れる事が必要だと思います。

さて、「経世済民」とは、本来は経済の原語・訳語ではなく、政治・統治・行政全般を指示する語で、「世を経（おさ）め、民を済（すく）う」すなわち政治によって民を救う事である。との中国古典の語であります。

生活者の声、市民の声をどう政策提言し、実行していくかは議員一人一人に課せられた命題です。

人の役に立つ議員として、新しい時代を切り開くための議会だよりを広報委員全員で、皆さんに発信してまいります。

巻き込んだ取り組みが必要である。防災教育としての避難所体験や、地域運動会の復活等も子供たちと一緒に実践することで貴重な体験となる等々。

子どもたちを置き去りにすることなく、前向きな意見・提案のできる若い父兄の姿に頼もしさを感じました。

(武藤義彦記)

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(熊谷一夫記)



■タブレット端末機を使用した議会風景